

キヨ子像

平村長子

← 11行右 →

御免下さい。悔免下さい。

何かすればと書きたる鐘の声かよんひある。 糸子が

出たやうに國防色やフルーアをまわす 正吉か小

さい 海軍服包帯を もりこぼつんと立ちこわぬ

糸子様(正吉の奥さん)のやうに中々 氣持のなやなから「あら、こ

ろして」と 思及、 奇妙な挨拶をしぬ

の聲

正吉は 顔色り悪い 顔の古奥に立つ糸子と仰

打ち明す

「入つておいていなくか」

とこれに 正吉の奥さん 挨拶を挨拶のやうに 中國地方

の以市にゐる 彼の妻の仲(四圍にゐる) 正吉は 月は三丁

月位の金を送りたり送りたりなりしとぬち「今

ひまり物價は 二れわうかひの金を送りしくれ

よりあしり送りしくれをいふかきしと、いふ手

段に 直事の糸子は 正吉はあしと下すると、いひ

あしりのあしり送りしと、いひ返事して、これ

段 = 段

かゝる